

## 第九回 高岡医療圏在宅緩和医療世話会 世話人会 議事録

日時：平成 23 年 9 月 17 日（土） 18:00～19:00

場所：ホテル ニューオータニ高岡 3 階 雨晴の間

議事進行：当番世話人柴田 和彦 先生

議事補佐：代表世話人 小関 支郎 先生

書記：富山県済生会高岡病院 事務部 中瀬 剛司 様

塩野義製薬株式会社 担当 岡部

武田薬品工業株式会社 担当 酒井

### ・出席（14 名）

小関先生、柴田先生、斎藤先生、白川先生、宮崎先生、黒澤先生、野田先生、辻本先生、  
中川先生、高橋先生、北川先生、村上先生、平野先生、藤田先生

### ・欠席（5 名）

稲尾先生、太田先生、斎藤先生、宮内先生、高嶋先生

### ●報告事項「在宅緩和ケア地域連携パス」について

・小関先生から概要の報告。

・村上先生からスライドを用いて状況報告

1) 在宅緩和ケアに関する現状

2) 地域連携パスのコンセプト

3) 作成委員会メンバー提示（H23 年 5 月から月 1 回の作成委員会を開催）

4) 原案を提示

5) 今後の予定・・・今月、済生会高岡病院の倫理委員会を通し、来月から試用開始。

・協和発酵キリン社よりパスの説明

・質疑応答

小関先生：この場で了承が欲しいのでしょうか。

村上先生：了承を頂き、今月 22 日に倫理委員会に掛けたいと考えています。

柴田先生：倫理委員会に掛けなければならないのでしょうか。

村上先生：個人情報も多く取り扱うので、出来たら通しておきたい。

平野先生：今後、このパスを県で統一したものにするのですか、またレセプト点数  
に反映させる予定はありますか。

村上先生：来月、県のパス部会にて、このパスを紹介させて頂く予定ですが、あく  
まで高岡医療圏で考えているパスということでの紹介です。

診療報酬に関しては、まだその段階ではないと考えています。

平野先生：県としては、このパスを使っていく方向なのでしょうか。

村上先生：しばらくは、地域で運用していき、コンセンサスが得られてから広げたいと考えています。

小関先生：診療報酬とれるかどうかは、社会保険局と相談してみる必要があるでしょう。

平野先生：レセプトで認められれば、パスが広がりやすくなると思います。

高橋先生：県全体に広げると365日24時間の対応をしてくれない病院もあるので、病院への搬送に関して注釈が必要と思います。

柴田先生：地域連携パスを用いた患者さんを送るときでも、患者さんが直接連絡を入れると事務レベルで断ってしまうことがある。診てらっしゃる先生や訪問看護ステーションの方など医療者から連絡するのが良い。

白川先生：経過表ですが、1マス3時間となっていて細かく分かれており、12時だけ記載されているが。

協和発酵：おおよその目安です。

村上先生：今後、運営して改良しましょう。

藤田先生：作成委員に診療所の先生は入っていないのでしょうか。緩和ケアに積極的な先生と、そうでない先生にも参加してご意見を伺うのはどうでしょうか。また、パスはなるべく簡単にしたい。

村上先生：3ヶ月に1回、委員会を開き、小関先生と相談しながら改良していきます。

小関先生：全部記入しなければならない訳ではないですよ。また自由記入欄が重要と思います。

#### ・ パスの了承

賛成多数により、このパスを了承した。

#### ● 議題

##### 1) 新世話人のご紹介

高岡厚生センター長 黒澤 豊 先生

小関先生から紹介後、一言御挨拶をいただく。

黒澤先生から挨拶。

##### 2) 会計報告

富山県済生会高岡病院 事務部 中瀬 剛司 様より報告（別紙参照）

監査：斉藤先生に後日捺印を頂く。

##### 3) 第十回 当番世話人について

社会保険高岡病院 宮崎 幹也 先生  
柴田先生から紹介後、御挨拶をいただく。  
宮崎先生の挨拶、

- 4) 第十回 開催時期について  
平成 24 年 3/10 (土)
- 5) 第十回 開催内容について  
各先生と相談して決定する予定。
- 6) 第十回 特別講演講師について  
現在は宮崎先生に一任している形
- 7) 今後の運営について  
これまで通り。
- 8) その他  
武田薬品 酒井氏から平栗氏へ変更。

以上